

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： (1 組～5 組)

使用教科書： (新編 現代の国語 数研出版)

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。	論理的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「目指す世界の地図を作る」 【知識及び技能】 内容 (1) ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育てる。	・指導事項/本文中の表現について、筆者の意図やその効果を考える。 ・教材 教科書、便覧、パソコン ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者や社会に関わったり、学習の見通しをもって思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	5
	B 単元「時間とは何か」 【知識及び技能】 内容 (1) オ 文、語、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育てる。	・指導事項/論の展開を整理して、本文の要点をつかむ。 ・教材 教科書、便覧、パソコン ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 文、語、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解すること。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者や社会に関わったり、学習の見通しをもって思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	C 単元「水の東西」 【知識及び技能】 内容 (1) カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 書くこと (1) ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育てる。	・指導事項/二つの文化を比較を通じて、それぞれの特徴を浮き彫りにしようとする筆者の思考をたどる。 ・教材 教科書、便覧、パソコン ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使おうとしている。 【思考・判断・表現】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者や社会に関わったり、学習の見通しをもって思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	8
	D 単元「世間話はなぜするのか」 【知識及び技能】 内容 (2) ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと (1) イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育てる。	・指導事項/他者との関係において、世間話や挨拶はどのような意味を持つと述べられているのかをつかむ。 ・教材 教科書、便覧、パソコン ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解しようとする。 【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者や社会に関わったり、学習の見通しをもって思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
E 単元「写真を文章で説明する」 【知識及び技能】 内容 (2) イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 書くこと (1) イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育てる。	・指導事項/ある事物や出来事について、その内容を正確に伝える説明のしかたを身につける。 ・教材 教科書、便覧、パソコン ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者や社会に関わったり、学習の見通しをもって思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	7	

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組：齋藤 （2組：齋藤 （3組：齋藤 （4組：齋藤 （5組：齋藤 （組： ）

使用教科書：（精選 言語文化 明治書院 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、わが国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 随筆『千年の時が与えてくれる安堵』小川洋子 知・技/人間の内面と外面を理解する。 思判表/物事を対比して捉え、認識を深める。 人間性/友人と意見交換し、他者理解をする。	・指導事項 音読し大意を捉える。 /筆者独自のものの見方について考える。 /グループワークによる意見交換/他者理解 ・教材 教科書、便覧、パソコン ・一人1台端末の活用 等	知・技/内容 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について 思判表/作品や文章に現れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。 主体/言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げ、自己理解・他者理解しようとしている。	○	○	○	4
	B 古文『枕草子』清少納言 知・技/古典の世界に親しむために、古語や作品の文化的背景を理解 思判表/作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、人間性/我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して	・指導事項 音読し大意を捉える/ 考えたことを話し合う。/用言および動詞の活用に親しむ ・教材 教科書、便覧、パソコン ・一人1台端末の活用 等	知・技/古典の世界に親しむために、古語や作品の文化的背景を理解しようとしている。 思判表/作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めようとしている。 主体/教訓を理解し、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	7
	C 漢文『故事二編』より「虎の威を借る」 知・技/漢文の世界に親しむために、漢字や作品の文化的背景を理解 思判表/作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、人間性/教訓を捉え、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を 定期考査	・指導事項 音読し大意を捉える/ 漢文独特のリズムに慣れる/いくつかの故事成語を知る 教材：教科書、便覧、 ・一人1台端末の活用 等	知・技/古典の世界に親しむために、古語や作品の文化的背景を理解しようとしている。 思判表/作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めようとしている。 主体/教訓を理解し、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	3
	D 小説『羅生門』 知・技/語句や漢字について理解を深め、読む楽しさを実感できる。 思判表/小説に込められた主題を読み取り、考えを深めることができ 人間性/我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して 定期考査	・指導事項 音読し大意を捉える/ 場面や情景描写をとらえる/対比の事物を見つける/主題について考える 教材：教科書、便覧、 ・一人1台端末の活用 等	知・技/語句や漢字について理解を深め、読むことを楽しんでいる。 思判表/主題を読み取ろうとしている。考えを深めようとしている。 主体/言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げ、言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	11
				○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

国語 科目 古典演習

教科：国語

科目：古典演習

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年

必修選択

教科担当者：吉田

使用教科書：

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことが出来るようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、わが国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 古今著聞集『大江山』 知・技/文学史上の基本的な知識を持つ。和歌の修辭を理解できる。 思判表/内容を構成や展開に即して理解できる。 人間性/古文に親しみをもち、話の面白さを理解できる。	・指導事項 音読し大意を捉える。/辞書を調べて自力で解釈する。/登場人物の心情や行動を読み味わう。/古典文法（用言） ・教材 文法書、 ・一人1台端末の活用 等	知・技/正しく音読している。和歌の修辭を理解している。 思判表/内容を構成や展開に即して理解している。適切に口語訳できる。 主体/古文に親しみをもち、日本の言語文化の理解を深めている。	○	○	○	6
	B 単元 竹取物語『御門の求婚』 知・技/古典文法を理解し口語訳できる。 思判表/物語の内容の面白さを理解できる。 人間性/昔話としてなじみのある作品を読んで古文に親しむ。 定期考査	・指導事項 音読し大意を捉える。/辞書を調べて自力で解釈する。/登場人物の心情や行動を読み味わう。/古典文法（用言） ・教材 文法書、 ・一人1台端末の活用 等	知・技/正しく音読している。和歌の修辭を理解している。 思判表/内容を構成や展開に即して理解している。適切に口語訳できる。 主体/古文に親しみをもち、日本の言語文化の理解を深めている。	○	○	○	7
	C 単元 方丈記『行く河の流れ』 知・技/古典文法を理解し口語訳できる。 思判表/作者の思想や感情を読み取ることができる。 人間性/無常観について理解し、人間、社会、自然などについて考察する。	・指導事項 音読し大意を捉える。/辞書を調べて自力で解釈する。/作者の思想や感情を読み取る。/古典文法（助動詞） ・教材 文法書、 ・一人1台端末の活用 等	知・技/正しく音読している。 思判表/特有の表現や修辭を理解している。 主体/和歌に込められた思想や感情を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	D 単元 古今和歌集 知・技/文学史上の基本的な知識を持つ。和歌の修辭を理解できる。 思判表/和歌に込められた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然な人間性/優れた表現に親しみ、好きな歌を暗誦できる。 定期考査	・指導事項 和歌の修辭を理解する。/区切れやリズムに注意して朗読・暗誦する。/歌人について調べたり発表したりする。/古典文法（助動詞） ・教材 文法書 ・一人一台端末の活用	知・技/区切れに注意して正しく朗読・暗誦している。 思判表/作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。 主体/教訓を理解し、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	6
2 学 期	E 単元 十八史略『水魚之交』『赤壁之戦』 知・技/魏・呉・蜀三国の興亡について知識を得る。 思判表/話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 人間性/漢文に親しみをもち、歴史的背景について理解を深める。 定期考査	・指導事項 訓点に従い正しく読む/書き下し文に改める。/話の内容を掴む。/ ・漢文法・教材 プリント ・一人一台端末の活用	知・技/正しく訓読する。 思判表/話の内容を掴む。/登場人物の言動の理由を理解する。 主体/歴史的背景について理解しようとしている。	○	○	○	14
	F 単元 源氏物語『桐壺』『若紫』 知・技/敬語法や助動詞の知識を確認し、口語訳する。 思判表/長編のおもしろさを理解する。 人間性/登場人物の行動と心理を読み取り、積極的に内容を理解しよう	・指導事項 助動詞や敬語法を理解し適切に口語する。/登場人物の行動と心情を理解する。/長編のおもしろさを理解する。 ・教材：文法書 ・一人1台端末の活用 等	知・技/古典の世界に親しむために、古語や作品の文化的背景を理解しようとしている。 思判表/作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。 主体/教訓を理解し、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を効果的に使おうとしている。	○	○		15

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 国語表現

教科： 国語 科目： 国語表現 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 必修選択

教科担当者： 田崎 英樹

使用教科書： (新編 国語表現 大修館書店)

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち

科目 現代の国語表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 言葉と出会う A 単元 レッスン1 「言葉と表記」 【知識・技能】 (1) ア、ウ	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。 ・教材 教科書、基礎練習ノート	【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解しようとしている。〔(1)ア〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにする。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 正しい表記や、言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	5
	B 単元 レッスン2 「整った文を書く」 【知識・技能】 (1) イ 【思考力、判断力、表現】 B(1)オ	・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。 ・教材 教科書、基礎練習ノート	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、伝えたいことを明確に伝えるために、係り受けや文末表現の統一に留意し、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・設問に取り組むことをとおして、係り受けを整えたり文末表現を統一したりする学習に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	C 単元 レッスン3 相手に応じた言葉遣い 【知識・技能】 (1) イ、ウ	・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。 ・教材 教科書、基礎練習ノート	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。〔(1)イ〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「言葉の使い分けクイズ」をとおして、相手に応じて適切な言葉を使い分けることに積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	D 単元 レッスン4 わかりやすく書く 【思考力、判断力、表現】 (1) オ、カ	【思 B】 ・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。 ・教材 教科書、基礎練習ノート	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕 ・「書くこと」において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・わかりやすい文を書くことに意欲をもち、積極的に学習に取り組んでいる		○	○	7
定期考査			○	○		1	
E 単元 レッスン5 文のつながり 【知識・技能】 (1) ウ 【思考力、判断力、表現】 B(1)カ	【知 B】 ・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。 ・教材 教科書、基礎練習ノート	【知識・技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・接続表現を適切に用いることに意欲をもち、積極的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	7	

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：（1～5組：田崎英）

使用教科書：（『新編論理国語』大修館書店）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元知の登山、知の水路 【知識及び技能】 「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 他者に自らの意見を発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなから要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶことについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	○	○	○	5
	B 単元「論理的な人」とはどういう人か 【知識及び技能】 学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語彙を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 「論理」についての筆者の考えを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえ、これからの学習に興味をもつ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなから要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元ウサギの耳はなぜ長い？ 【知識及び技能】 具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の考えに興味を持ち、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなから要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 共進化についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	○	○	○	8
D 単元デジタル地図から見える世界 【知識及び技能】 対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の考えに興味を持ち、対比の関係をとらえようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、対比の关系到注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなから要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 デジタル地図についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえようとしている。	○	○	○	7	
定期考査			○	○		1	
A 単元人工の自然—科学技術時代の今を生きるために 【知識及び技能】 主張と根拠の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開に注意しな	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。					

2 学 期	<p>がら、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の考えに興味を持ち、主張と根拠の関係をとらえようとする。</p>		<p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 科学技術についての筆者の考えを読み取ることに関心を持ち、主張と根拠の関係をとらえようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>B 単元「考える葦」であり続ける 【知識及び技能】 筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の考えに興味を持ち、主張と根拠の関係をとらえようとする。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 デジタル社会についての筆者の考えを読み取ることに関心を持ち、主張と根拠の関係をとらえようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>C 単元量の時代から質の時代へ 【知識及び技能】 さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 【思考力、判断力、表現力等】 統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の考えに興味を持ち、文章と資料の関係をとらえようとする。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費意識についての筆者の考えを読み取ることに関心を持ち、文章と資料の関係をとらえようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>D 単元若者の「海外旅行離れ」は本当か？ 【知識及び技能】 統計資料の特徴をとらえ、必要な情報を的確につかむ。 【思考力、判断力、表現力等】 主張の根拠となるように、統計資料</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。</p>	○	○	○	7

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員

齋藤真紀子

教科・科目	国語 国語総合（就職）	単位数	2	学年・ 学級	3学年選択 C1、C4
教科書	大修館書店『新編国語総合改訂版』				
補助教材	浜島書店『改訂版プレゼミ総合国語』				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語常識に関する知識を身につける。 ・敬語表現やレポートの書き方等就職試験や社会人生活で役立つ知識を身につける。 				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1学期 中間考査前まで	プレゼミ基本編第一回～第三回 (熟語、同音異義語、慣用句、読解等) 場にふさわしい言葉遣い	熟語等の知識を身につける。 敬語表現や書き言葉を学び、場にふさわしい表現ができるようになる。	
1学期 期末考査前まで	プレゼミ基本編第四回～第七回 (熟語、同音異義語、慣用句、読解等) 作文の書き方	熟語等の知識を身につける。 構成に注意して、適切な文法で作文を書くことができる。	
2学期 中間考査前まで	プレゼミ必修編第一回～第六回 (熟語、同音異義語、慣用句、読解等) 面接試験のマナー 電話対応、手紙の書き方	熟語等の知識を身につける。 面接試験におけるマナーを学び、実践できる。	
2学期 期末考査前まで	プレゼミ必修編第七回～第八回 プレゼミ完成編第一回～第二回 (熟語、同音異義語、慣用句、読解等) 調べ学習、レポートの書き方 プレゼン	熟語等の知識を身につける。 テーマに沿った内容を調べ、情報を整理してまとめ発表することができる。	
3学期	特別授業		

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
評価の観点	熟語等の知識を身につけ、一般常識問題を解くことができる。効果的な表現のこつを理解している。	場に合った言葉遣いや振る舞いをすることができる。構成に注意してレポートを書くことができる。	興味を持って学習に取り組んでいる。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の提出状況、授業態度、授業中の活動の評価 ・漢字等の授業内テスト ・長期休業中の課題の提出状況 以上を総合して評価する。		

学習のポイント	【補習・補講計画、参考図書など】
---------	------------------

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員 吉田智美

教科・科目	国語総合 進学	単位数	2	学年・学級	3年選択
教科書	『改訂版 プレゼミ総合国語』国語常識・表現力養成（浜島書店）				
補助教材	わかるとける現代文解法のテクニック・同シリーズ速読・多読 啓隆社				
学習目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。他者との関わりの中で伝え合う力を高め思考力や想像力を伸ばす。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1学期 中間考査	○ プレゼミ基本編（演習・復習テスト） ○ 現代文解法のテクニック・速読多読から1つ	【プレゼミ学習のねらい】 ○高校生として必要な国語常識と文章表現力「書く」力を同時に養う。 ○就職・進学試験に向けて一般常識を養う。 (演習→次時に復習テスト)	11
1学期 期末考査	○ プレゼミ基本編から必修編へ ○ 現代文解法のテクニック		16
2学期 中間考査	○ プレゼミ必修編 ○ 現代文解法のテクニック	【現代文解法のテクニック】 ○共通テスト対応版問題集で、論理的に考える訓練をする。 ○「読む」文章全体をつかむ力、と「書く」要約文にまとめる力、を総合的に身につける。 毎回辞書を持参することが望ましい。 (演習→解説と答え合わせ)	15
2学期 期末考査	○ プレゼミ完成編 ○ 現代文解法のテクニック		16
3学期 期末考査	○ プレゼミ対策編		20

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
評価の観点	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけようとしている。実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに語句や語彙の構造や特色、用法及び標記の仕方などを理解しようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	○ 平常点（出席状況、授業態度、小テスト、提出物、課題）で評価する。 ○ 定期テストは授業内で実施する。		

学習のポイント	<p>【補習・補講計画、参考図書など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時間国語辞典を持参することが望ましい。 ○ 国語総合として、現代文から古典分野まで幅広い知識を養う。 ○ NHK 高校講座の関連部分を視聴する。
---------	---

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員 吉田智美

教科・科目	国語表現 α	単位数	2	学年・学級	3年選択
教科書	『国語表現（改訂版）』（大修館書店）				
補助教材	『国語表現（改訂版）基礎練習ノート（大修館書店）』				
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。設問に応じた小論文が書ける。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 整った文、わかりやすい文を書く。 ○ きれいな字で書く。 ○ 小論文・レポート入門・ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表記、係り受け、敬語、接続表現等書き方の基礎・基本を身につける。 ○ 自分の意見や考えを的確に伝える。 	11
1学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小論文・頻出テーマ攻略。 ○ 実践・小論文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小論文やレポートの書き方を学び表現能力の向上を目指す。 ○ 論理の構成、文体などを学ぶ。 ○ 小論文頻出テーマを知り、テーマごとの要点を盛り込んで書く。 	16
2学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己PR原稿を書く。 ○ 志望動機を書く。 ○ 実践・小論文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の過去や現在を見つめ、将来に向けての展望を持つ。 ○ 自分の特徴を他者に的確に伝える力を身につける。 ○ 小論文を自力で完成させる。 	15
2学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題型小論文を書く。 ○ 要約のしかたを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題文（論理的文章）を読み、要点をつかむ。読解力をつける。 ○ 要点をまとめる力をつける。 	16
3学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創作活動及 ○ 一般常識 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えや思いを創作に結実させ、表現を楽しむ。 ○ 敬語や一般常識を身につけ就職・進学に活かす。 	20

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。	生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平常点（出席状況、授業態度、小テスト、提出物、課題）で評価する。 ○ 定期テストは実施しない。 		

学習のポイント	<p>【補習・補講計画、参考図書など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時間、今週の気になるニュースについて400字で書く。（宿題） ○ 毎時間国語辞典を持参することが望ましい。 ○ NHK 高校講座の視聴や、論理的文章に慣れるために評論を読むなどを適宜取り入れる。
---------	--

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員 藤井ゆき

教科・科目	国語表現β	単位数	2	学年・学級	3年選択
教科書	『国語表現（改訂版）』（大修館書店）				
補助教材	『国語表現（改訂版）基礎練習ノート（大修館書店）』				
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1学期 中間考査	○ ショートスピーチ ○ リーダーズシアター	○ 目的に応じて情報を整理し、内容や表現のしかたを工夫して話したり聞いたりする。 ○ 朗読劇に取り組み、伝えたいことがらや気持ちにふさわしい声の使い方を身につける。	12
1学期 期末考査	○ ビブリオバトル	○ 自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。	14
2学期 中間考査	○ 自己PR発表 ○ 面接練習 ○ メール・電話・手紙の書き方等	○ 自分の過去や現在を見つめ、将来に向けての展望を持つ。 ○ 自分の特徴を他者に的確に伝える力を身につける。 ○ 様々なメディアの特性を知り使いこなす。	14
2学期 期末考査	○ ディベート ○ 俳句創作入門	○ 仲間と話し合い、協力しながら説得力のある演説を行い、他者とともに同じ目的に向かって努力する喜びを知る。 ○ 季語や俳句の基本を学び、発想力を鍛える。	16
3学期 期末考査	○ 句会を楽しむ	○ 仲間と共に作品築き上げ表現を楽しむ。 ○ 表現の総合芸術としての句会実践の方法を学ぶ。	22

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。	自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	○ 平常点（出席状況、授業内活動、授業態度、小テスト、提出物、課題）で評価する。 ○ 定期テストは実施しない。		

学習のポイント	<p>【補習・補講計画、参考図書など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時間、数人ずつ今週の気になるニュースについて1～2分で発表する。（宿題） ○ 毎時間国語辞典を持参することが望ましい。 ○ 現代文の重要語を数個ずつテストし定着させる。 ○ NHK 高校講座の関連部分を視聴する。
---------	--

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員

齋藤 真紀子

教科・科目	国語・古典 A	単位数	2	学年・学級	3年必修選択科目
教科書	大修館書店 『古典 A 物語選 』				
補助教材					
学習目標	①助動詞や助詞のはたらきを理解し、内容を正確に読み取ることができる。 ②再読文字や句法を理解している。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1 学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 用言の活用 助動詞 「小式部内侍が大江山の歌の事」 	<ul style="list-style-type: none"> 動詞、形容詞、形容動詞の活用表を完成することができる。 助動詞の接続や活用、意味を理解している。 歴史的仮名遣いに気を付け音読することができる。 	10
1 学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞 助詞 『徒然草』 	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の接続や活用、意味を理解している。 助詞のはたらきを理解している。 兼好法師が見聞きしたことを通して仏教の考え方を理解している。 	14
2 学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 品詞分解 修辞法 『源氏物語』 	<ul style="list-style-type: none"> 正確に品詞分解し、内容を読み取ることができる。 掛詞や縁語などの修辞法を理解している。 	18
2 学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 『源氏物語』 	<ul style="list-style-type: none"> 日本美術にも影響を与えた源氏物語を読み、古文の面白さを発見する。 	12
3 学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 論語 漢文訓読の仕方・格言 	<ul style="list-style-type: none"> 日本と中国の文化の関わりを学ぶ。 再読文字も含め、訓読の仕方を理解している。 孔子の考え方を理解している。 	16

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	<ul style="list-style-type: none"> 重要語句や文法を理解している。 助動詞や助詞の意味を理解し、内容を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話の展開を理解し、内容を把握している。 登場人物の行動と心情を読み取っている。 単語の意味や文法から、独力で現代語訳ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習や指定の課題を事前に取り組みなど、興味関心を持って学習に取り組んでいる。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 単語小テスト 暗唱テスト 提出物・定期考査 		

学習のポイント	<p>【補習・補講計画、参考図書など】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週単語の小テストを実施するため、単語帳を用いて自主的に勉強すること。 毎回宿題を課す。わからない点があれば授業外で聞きに来ること。
---------	---

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員

藤井 ゆき

教科・科目	国語科 現代文B	単位数	3	学年・ 学級	3年
教科書	第一学習社『標準 現代文B』				
補助教材	東京書籍『高校 漢字演習 標準編』 第一学習社『新訂総合国語便覧』				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにする ・ 国語文法を学び、文法上の誤りがない文章を正せると同時に、誤りのない文章を書くことができる。 ・ 叙述に即して文章中の人物の心情や生き方を理解することができる。 ・ 文章中の主張が確実な根拠に基づいて書かれているか読み取ることができる。 				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1学期 中間考査	技能、表現 「話し言葉と書き言葉」 小説を読む 『山月記』	話し言葉を適切な書き言葉に直すことができる。 小説特有の表現技法に気を付け、物語のテーマを読みとることができる。	18
1学期 期末考査	技能、表現 「敬語」 小説を読む 『話を聞かせて』	敬語表現について正確な知識を身につけるとともに、適切に使うことができる。 展開を通して主人公の心情の変化に伴う行動の変化を読むとすることができる。	21
2学期 中間考査	人間と文化 『コミュニケーションの文化』 生への思索 『鏡としての他者』	筆者の体験談や主張から、自身の生活に振り返ることで、考えを深めることができる。 文章を通して、自分のものの見方考え方を深める。	24
2学期 期末考査	技能、表現 「論理的な主張」 新しい視点 『物語を発現する力』	情報を収集し、自分の立場や根拠を明確にし論理的に主張できる。 文章を通して、自分のものの見方考え方を深める。	18
3学期 期末考査	技能、表現 「手紙の書き方」 小説を読む 「相棒」	手紙の書き方について正確な知識を身につけるとともに、適切に使うことができる。 主人公の成長から働くことの意義や働き方等について考えを深める	33

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
評価の観点	適切な係り受けや文語等の国語文法の知識を身につけている。 作品の主題や作者の主張を正確に読み取ることができる。	語彙を豊かにし、文法上の誤りがなく自身の考えを表現することができる。	興味関心をもって学習に取り組もうとしている。 多様な考え方、価値観から自身のものの見方考え方を深めようとしている。
評価方法	定期考査 平常点（小テスト、授業内活動、授業態度、提出物）		

学習のポイント	<p>【補習・補講計画、参考図書など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章に目を通すことと、文章を理解することは異なる。そのため、自身の経験や考えをもとにイメージを膨らませながら積極的に文章を読むことが重要である。
---------	--

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員

齋藤 真紀子

教科・科目	国語・古典 A	単位数	2	学年・学級	3年必修選択科目
教科書	大修館書店 『古典 A 物語選 』				
補助教材					
学習目標	①助動詞や助詞のはたらきを理解し、内容を正確に読み取ることができる。 ②再読文字や句法を理解している。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1 学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 用言の活用 助動詞 「小式部内侍が大江山の歌の事」 	<ul style="list-style-type: none"> 動詞、形容詞、形容動詞の活用表を完成することができる。 助動詞の接続や活用、意味を理解している。 歴史的仮名遣いに気を付け音読することができる。 	10
1 学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞 助詞 『徒然草』 	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の接続や活用、意味を理解している。 助詞のはたらきを理解している。 兼好法師が見聞きしたことを通して仏教の考え方を理解している。 	14
2 学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 品詞分解 修辞法 『源氏物語』 	<ul style="list-style-type: none"> 正確に品詞分解し、内容を読み取ることができる。 掛詞や縁語などの修辞法を理解している。 	18
2 学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 『源氏物語』 	<ul style="list-style-type: none"> 日本美術にも影響を与えた源氏物語を読み、古文の面白さを発見する。 	12
3 学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 論語 漢文訓読の仕方・格言 	<ul style="list-style-type: none"> 日本と中国の文化の関わりを学ぶ。 再読文字も含め、訓読の仕方を理解している。 孔子の考え方を理解している。 	16

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	<ul style="list-style-type: none"> 重要語句や文法を理解している。 助動詞や助詞の意味を理解し、内容を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話の展開を理解し、内容を把握している。 登場人物の行動と心情を読み取っている。 単語の意味や文法から、独力で現代語訳ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習や指定の課題を事前に取り組みなど、興味関心を持って学習に取り組んでいる。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 単語小テスト 暗唱テスト 提出物・定期考査 		

学習のポイント	<p>【補習・補講計画、参考図書など】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週単語の小テストを実施するため、単語帳を用いて自主的に勉強すること。 毎回宿題を課す。わからない点があれば授業外で聞きに来ること。
---------	---